

## 令和4年度 第2回 都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価委員会 議事要旨

令和5年2月17日（金）14:00～15:00  
柏原市役所別館3階フローラルセンター会議室

### ■開会からの流れ

- ・委員会の成立について（報告）
- ・都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価における意見具申案についての説明
- ・意見具申案の内容に関する審議

### ■意見具申案の内容について

#### <田中委員長>

意見具申案の中が、前段と後段に分かれているので、前段の部分、特に、対応方針案どおり事業継続することを判断したということが重要だと考える。それについて、各委員のご意見をお聞きしながら、審議を進めていく。

#### <渡部委員>

前回の委員会の中でも、費用便益・B/Cが2.01と記載されており、1.0を大きく上回っていることで、定量的に評価を確認出来た。

この道路が柏原市の上位計画に掲げられている産業の更なる発展や地域の活性化、安全で安心して暮らせるまちづくりなどの構想の実現に向けて役立っていくということを期待して、事業継続が適当である。

#### <宮崎委員>

国道25号と165号の高速道路と並行した国道区間については、雨量と河川水位及び雪害により高速道路が通行止めとなる場合には同時に通行止めにする方針が出ている。こうした状況を含め、事業継続をお願いする。

－（全委員 事業継続に賛成）－

#### <田中委員長>

前段部分については、各委員が事業継続という意見であり、事業継続で決定する。

次に、後段部分について、特に、「事業継続にあたっては」の部分から文末までで、ご意見等があれば発言をお願いする。

<福田委員>

この道路が、災害・救急救命活動などの緊急時における役割を担うことに加えてアドプトロードなどが反映されており、この文面で全く問題ない。

<柳原委員>

工事における環境への配慮、供用後の住民参加と共に、地域に根付いた道路となるようお願いします。

<渡部委員>

大阪府では、平成 28 年度から自転車通行空間整備の 10 か年計画を立て、令和 7 年度までに総延長 200 k m 整備を目指し令和 3 年度末で約 100 k m が完成している。

自転車事故の統計では、令和元年度までは毎年 10,000 件を超える事故が発生していたが、令和 3 年度では約 8,800 件と減少しており、自転車通行空間整備が事故の減少に一定の効果があったと考えられる。柏原市においても、自転車通行空間整備を進めていただき、事故件数の削減に、なお一層取り組まれていただけるようお願いする。

<田中委員長>

各委員のご意見を踏まえ、最終的な「都市計画道路田辺旭ヶ丘線再評価」の意見具申と決定する。

■閉会

■閉会后、市長室へ意見具申提出

以上